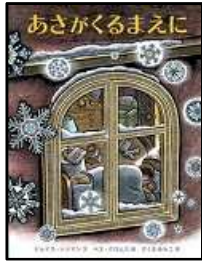


# ★えほん★

## 「あさがくるまえに」

ジョイス・シドマン／文 ベス・クロムス／絵  
さくまゆみこ／訳 岩波書店 E4クロ

雪のふるさむい夜、「どうかあさがくるまえに、世界をかえてください」。そうねがって子どもがねむりにつく。やがてふりつづいた雪が白くつもり、子どもが目をさます。そしてかなったねがいは…。



## 「おやすみなさいのおともだち」

ハインツ・ヤーニッシュ／作 バーバラ・ユンク／絵  
斉藤洋／訳 講談社 E4コン

よる、ねるまえにこわくなら…。おともだちをよびましょう。たとえば、ねむらないおおとこ。おまつりのこびとたち。みどりのぐるぐるりゅうはどうか？ だれでもかれでもこっちにおいて。



# あたらしい本のコーナー

## 「巨人の花よめ スウェーデン・サーメのむかしばなし」

菱木晃子／文 平澤朋子／絵 B.L出版 E1キヨ

ネイネ・パグにはきれいでかしいチャルミというむすめがいた。あるとき、らんぼうな巨人がむすめをよめによこせといってくる。ことわりきれなかったネイネ・パグに、チャルミはかんがえがあるのでまかせてほしいという。



## 「すごいね！みんなの通学路」

ローズマリー・マカーニー／文 西田佳子／訳  
西村書店 E2スコ

あなたは歩いて学校に行く？世界の他の国の子どもたちはどうやって学校に行くのか、見てみよう。学校がすごく遠いところにあたり、道もないところを通ったり、重い飲み水を運ばないといけない子もいるよ。



# ★よみもの★

## 「ツトムとネコのひのようじん」

にしかわおさむ／ぶん・え 小峰書店 931ニシ

ツトムはオカッパあたまのげんきなおとこのこ。おさるや、あひるや、きつねのともだちもいるよ。おばさんはいうんだ。「ツトムちゃんがくると、きまってゆかいなじけんがおきるわ」って。ツトムをめぐるたのしいおはなし6つ。



## 「図書館にいたユニコーン」

マイケル・モーバーゴ／作 ゲーリー・ブライズ／絵  
おびかゆうこ／訳 徳間書店 932モオ

ぼくは母さんに連れてこられた図書館で、木でできたユニコーンを見た。その背に座って司書の先生がしてくれたお話は魔法みだだった。それからぼくは本に夢中になった。そんな中、ぼくらの村に「戦争」がやってきた。



## 「まほろ姫とにじ色の水晶玉」

なかがわちひろ／作 偕成社 931ナカ

まほろ姫には思ったものに変身できるひみつがある。それを知っているのは人間にはけたタヌキの家族だけ。ある日、都から有名な絵師がまほろのおやしきに来ることに。まほろはとっくりに変身して絵師に近づいたけど…あれ、ばれてる！？



## 「モルモット・オルガの物語」

マイケル・ボンド／作 おおつかのりこ／訳  
いたやさとし／絵 PHP研究所 932ホン

オルガ・ダ・ポルダはカレンに選ばれて家にやってきた。先にいたネコのノエルは、オルガにしっぽがないのにおどろいた。オルガはモルモットがとくべつであること語りはじめた。それは、バルサンスという国からはじまるながいながい物語だった。



# ★しらべもののほん★

## 「今、世界はあぶないのか？ 争いと戦争」

ルイズ・スピルズベリー／文 ハナネ・カイ／絵  
大山泉／訳 佐藤学／解説 評論社 39

第二次世界大戦後、日本は一度も戦争をしていない。この70年間に戦争をしなかった国は世界196か国中8か国だけだ。みんなが不幸になるのに、なぜ戦争はなくなるのさ？ 戦争に巻き込まれた人たちに私たちができることはあるのだろうか？



## 「まさかさかさま回文めいじん」

ながたみかこ／文 多屋光孫／絵 汐文社 81

上から読んでも下から読んでも同じ言葉の回文。「けなげな毛」「下手なあなたへ」など、思わずクスッとくる回文だらけ。回文の作り方のコツまで載っている。



## 「日本の戦争と動物たち 1」

### 「戦場に連れていかれた動物たち」

東海林次男／著 汐文社 21

日本が戦争をしていた時、人だけでなく動物もぎせいになった。軍隊のためにはたらく「軍用動物」として戦場に連れていかれたイヌやウマ、ハトもいた。戦場では何をして、エサなどはどうしていたのか。物語や写真で紹介する。



## 「料理しなんしょ」

### 「コッペとオサジのおいしい12カ月」

まるもとただゆき／文 こがしわかおり／絵 偕成社 59

あったかいおちやがのみただけなのに、おゆをわかつたこともないコッペ。お料理の本をよんでみたけどむずかしくて「料理なんてむりむり！」そのとき、台所のまもり神イモリとヤモリがあらわれた。「わたくしたちにおまかせあれ！」さあいっしょにはじめよう。

